

楽しくチャレンジ



ボビー! バレンタイン



フレンドリーなチームでありたい

木村 先ほど練習中のグラウンドをマウンテンバイクで走り回っていましたけど、監督はそういうのが絵になるというか、とってもチャーミングなんですが、その魅力はどこからくるんでしょう。ご自身はどう思われますか？

バレンタイン うーん、チャーミングかなあ（笑）。とにかく人が好きなんです。秘訣といえば、野球をやりながら、選手たちからエネルギーをもらっていることもかもしれませんね。

木村 いままでベンチから練習を見せてもらっていたんですけど、選手同士や選手とコーチが楽しげに練習していましたし、それにベンチには選手の家族たちがやってきて、写真を撮ったり、サインをもらったりと、とってもアット・ホームなすばらしい雰囲気

ROBERT JOHN VALENTINE
一九五〇年五月一三日、アメリカ・コネチカット州生まれ、五五歳。身長一七八センチ、体重八四キロ、右投げ右打ち。現役時代はドジャース、エンゼルス、パドレス、メッツ、マリナーズで内野手として活躍。九年、千葉ロッテマリーンズの監督に就任し、前年五位から三位に導いたが、退団。ニューヨーク・メッツの監督を経て、二〇〇四年同球団監督に復帰。なによりもファンを大切にする姿勢は、プロ野球のありかたを再認識させてくれた。

ペナントレース大詰めの九月下旬、リーグ優勝、日本一に挑みづける千葉ロッテマリーンズこの日もファンが詰めかけ、一塁側は早くもチケット完売！
試合前から、ハリケーン・台風被災地へのチャリティーや
金田正一元ロッテ監督とのポスター撮影など超多忙なバレンタイン監督
ようやく試合開始前のベンチでインタビューははじまった――

なんですね。もちろん今回お世話になった広報や通訳といったスタッフの方たちも含めて、「千葉ロッテマリーンズ」というチームは

とってもフレンドリーで、いいチームだと思っています。それは監督のチームづくりのポリシーでもあるんですか？ 監督がチームをつくるときに、いちばん心がけられていることはなんでしょうか？

バレンタイン まずなによりも、ファンのみなさんに対してフレンドリーなチームであります。それは監督のチームづくりのポリシーでもあるんですか？ 監督がチームをつくるときに、いちばん心がけられていることはなんでしょうか？

そして、組織のなかにいる人たちにまずは求めたいのは、お互いによい人であろうと心がけること、そして自分の仕事を楽しむこと、それをチームのカルチャーにしていくことです。そうして、みんなが仕事を楽しくやれるような環境をつくろうと思いました。

そうしたことが、うまく浸透してきている

んじやないかな。

木村 監督は全員野球ということをおっしゃっていて、毎試合、メンバーだけでなく、打順まで変えられますね。それは日本のプロ野球ではかなり大胆なやり方だと思いますけれど、そうしたことでも、いまがった監督のポリシー、互いにフレンドリーであるということと関係しているんですね。

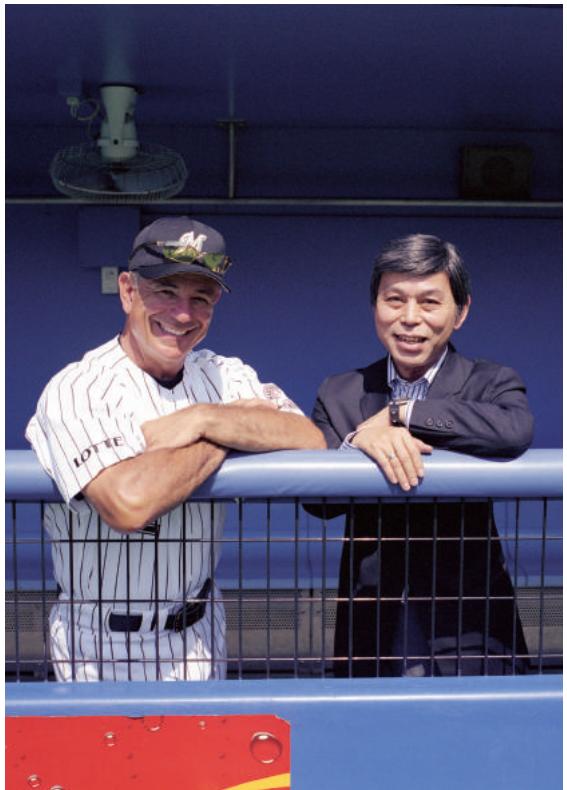
バレンタイン チームというのは集団ですから、人々が集まつてはじめて価値を持つんです。秀でた個人がただそこに一緒にいるだけ、気持がバラバラということではないと思います。ですから、全員が一緒になって、勝利したときも、また負けてくやしいときも、お互いがその気持を分かち合ってやっているという考え方でやっています。

ベテランには敬意を払っている

木村 先ほども、昔から顔なじみの選手が、いまはコーチですけど（高橋慶彦コーチ）、挨拶してくれて、とてもうれしかったんです。

日本の会社では最近、ベテランをどう扱っていくか、ちょっとととまとっているところがある。会社に限らず、どんな組織でもベテランの力を生かしていくことはむずかしいと思いますが、組織を率いる監督として、ベテランを起用するときには、どういうことを心がけてやつてらっしゃいますか。

バレンタイン 私は、逆にベテランたちを起用するほうが楽だと思います。ベテラン



ているということも、きっと彼らは理解してくれていると思っています。

五五年生きてきたことが素晴らしい

木村 監督が、勝つというのはひとつプロセスであって、目指すのは、「千葉ロッテマリーンズ」を一流の組織にすることだ、とおっしゃっているのを拝見したことがあります。そういう志をもった監督というのは、あまりいないと思うんです。

バレントайн 野球をやっているのですから、グラウンド上でやる野球をえていかなければならぬことはもちろんですが、それだけでもなく、さっきも言いましたが、組織ということを忘れないようにして、よい雰囲気をつくる、よいカルチャーを培っていくことを大切にしたいと思っています。

と同時に、それだけの経験があるのだから、もっと多くの期待してもよいとも思っています。

そういう組織ができあがればすばらしいと思っています。

木村 こういうボスだったら、部下としては、ほんとに働きやすいと思いますね。

バレントайн それはどうかはわかりませんが、ベテランたちはともかく一生懸命仕事をしてくれます。私は彼らを支援します——「あなたたちの味方だよ」と。そういう私の気持ちを理解してもらっているつもりです。

それと同時に、高いレベルのものを要求し

ることができるか」という秘訣をぜひとも教えていただきたい。

バレントайн まずなによりも身体が元気でなければいけませんから、できるだけ運動してほしいと思います。そして正しい食事をとって、たくさん眠つていただければ、本当に身体が元気になると思います。

木村 身体がリフレッシュされれば、当然頭の中もスッキリして、毎日毎日楽しい時間を過ごすという気になってしまいます。

五五年間生きてこられたということだけで、素晴らしいんじやないかと思うことです。ここまでやってきたんだから、これからもっともっと楽しいこともあるだろうというふうに前向きに考えていただきたいですね。

木村 とってもいいお話をでした。今日の新聞の見出しのように、ぜひ「日本一」になってほしいと思います。

（後記）

何でカッコいいんだろう、そして何でホスピタリティに溢れているんだろう。それがマリンスタジアムを訪ねた第一印象でした。それに球場の美しいこと。いきなり通されたベンチで監督を待っていると、次から次へ来客が……おかげでインタビューも一時間遅れ。それでも試合直前、嫌な顔も見せずインタビューに応えていたきました。ボビースマイルを交えながら、人気の秘訣が分った気がします。彼がいる限り、このチームはきっと輝き続けるんだろうな、と思いました。（木村）